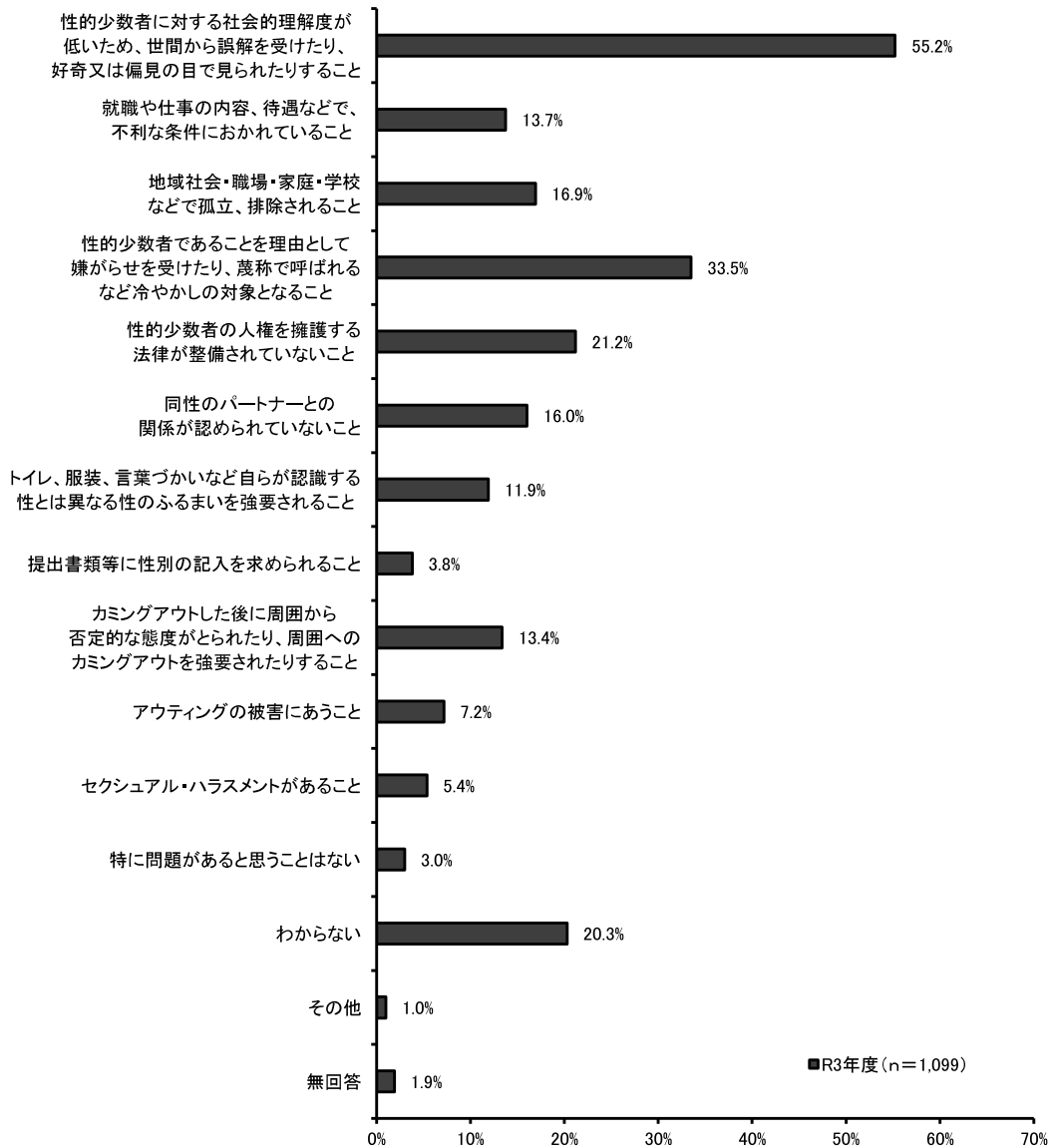


3-14 性的少数者の人権について

(1) 性的少数者の人権問題で、特に問題があると思うこと

問 43 性的少数者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

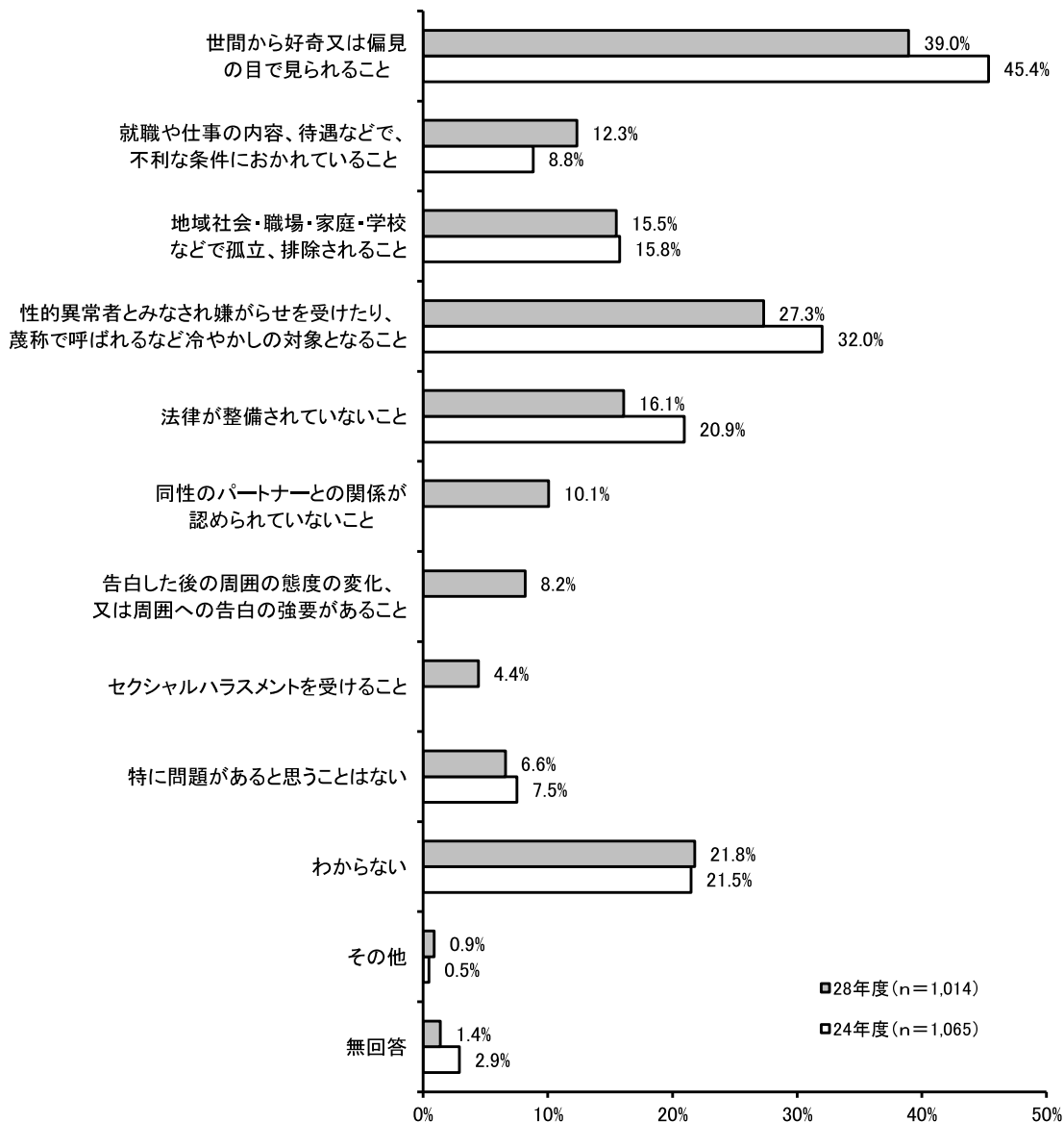


■ 「性的少数者に対する社会的理解度が低いため、世間から誤解を受けたり、好奇又は偏見の目で見られたりすること」が55.2%と最も高く、次いで「性的少数者であることを理由として嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」が33.5%、「性的少数者の人権を擁護する法律が整備されていないこと」が21.2%の順となっている。

※本質問は、前回調査「性的指向の異なる人の人権問題で、特に問題があると思うこと」と「性自認の異なる人の人権問題で、特に問題があると思うこと」を統合したため、今回と前回までの調査結果を別々に掲載している。

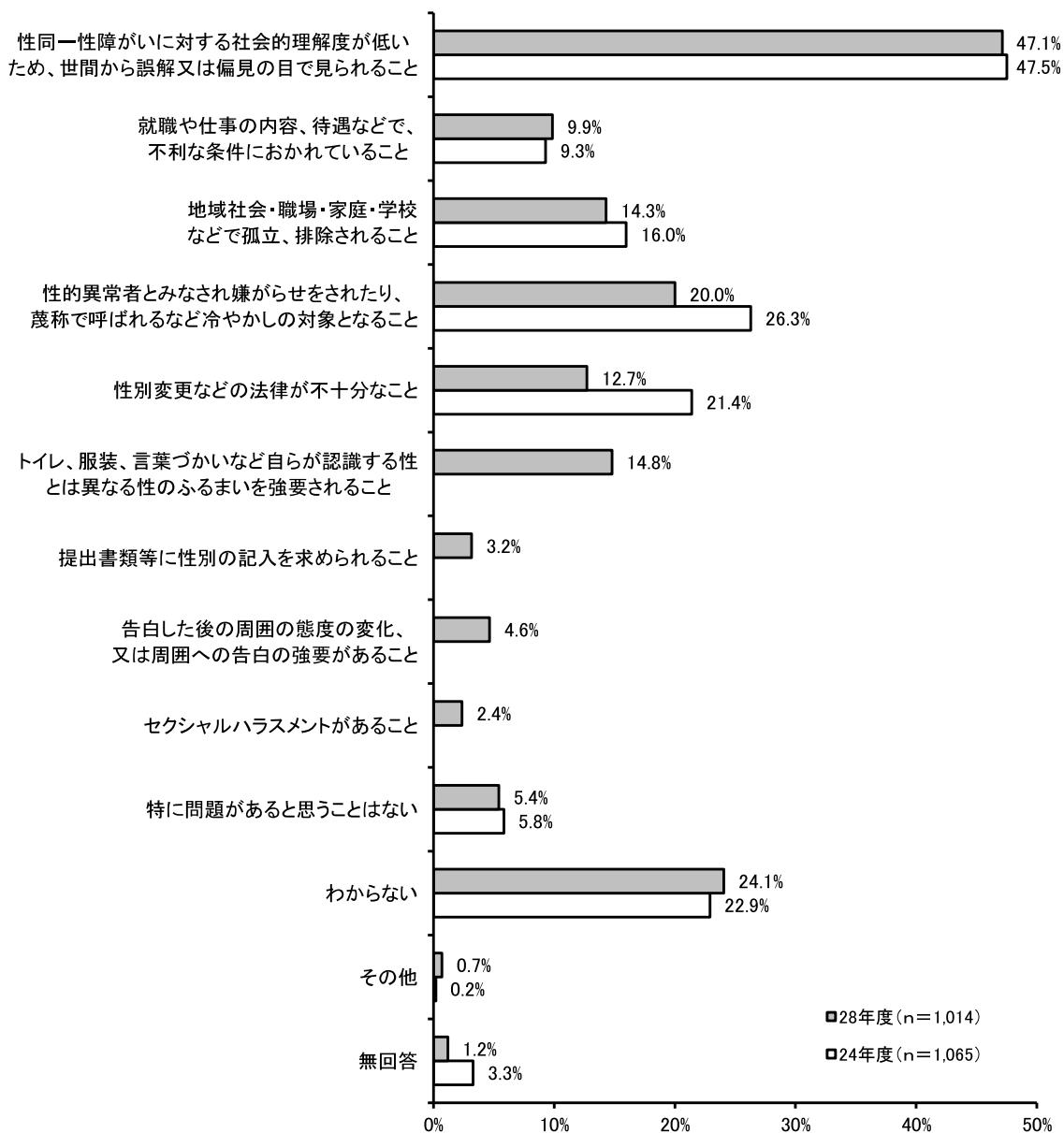
参考（前回・前々回調査）

問 性的指向の異なる人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

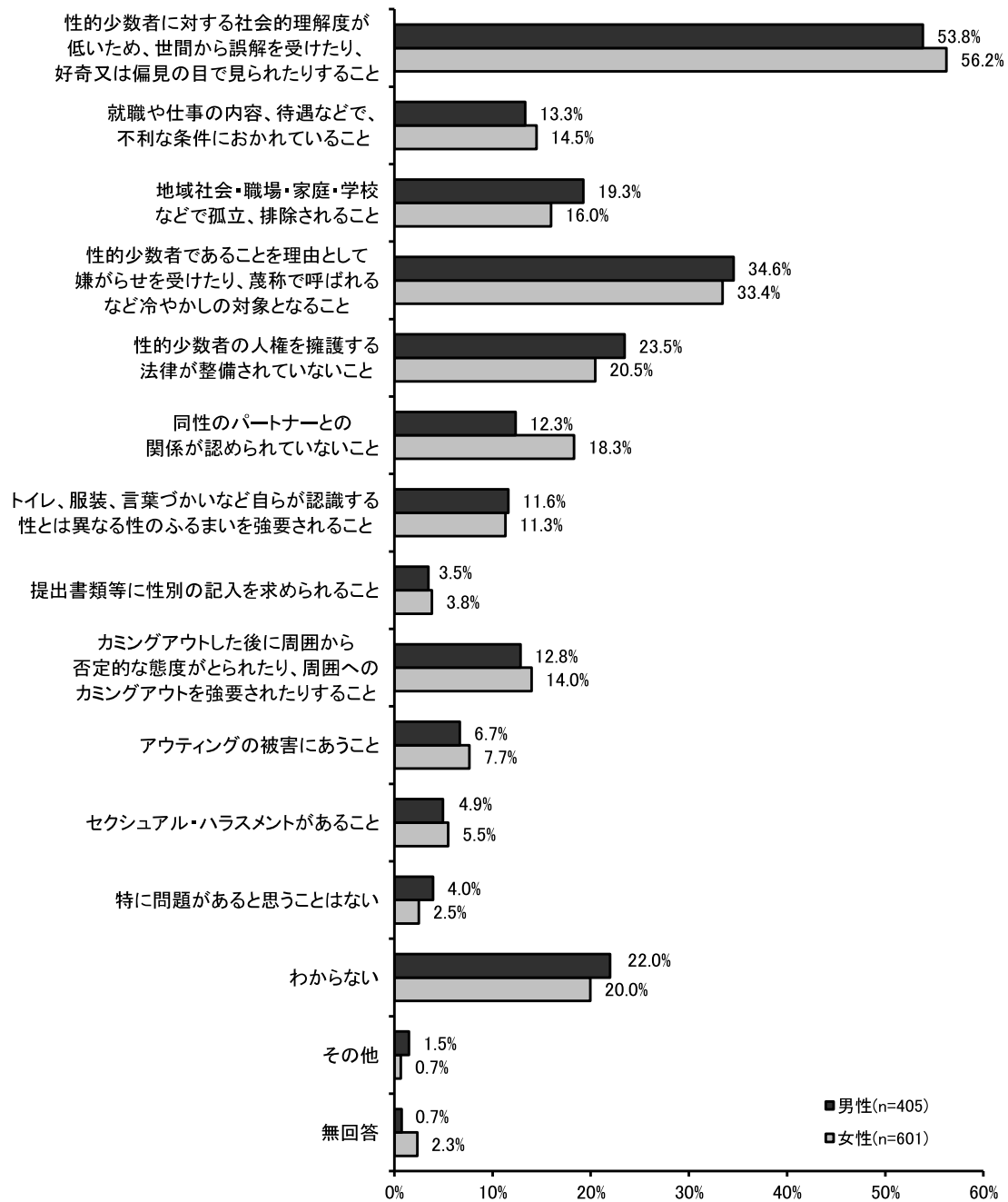


参考（前回・前々回調査）

問 性同一性障がい等の性自認の異なるの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

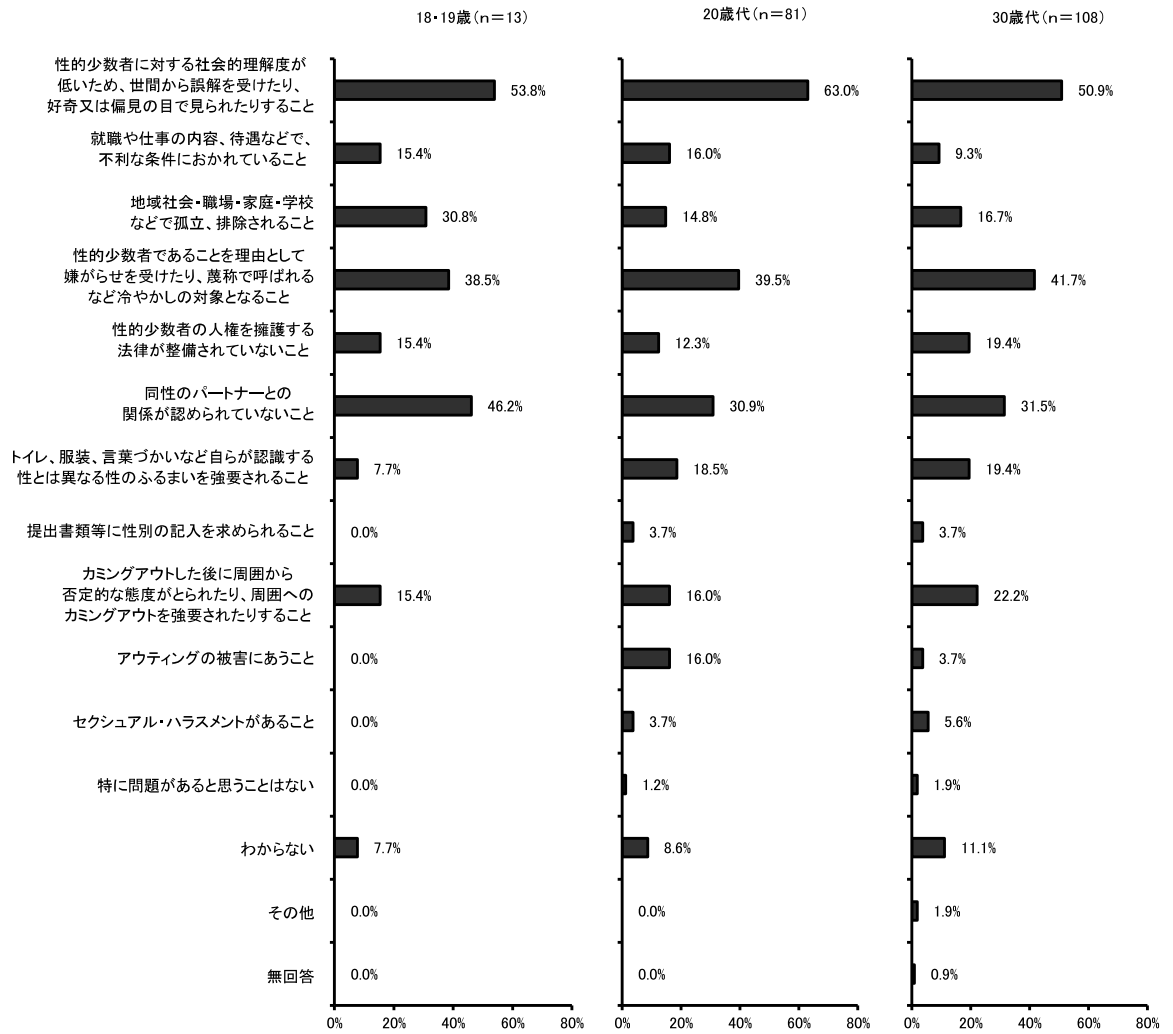


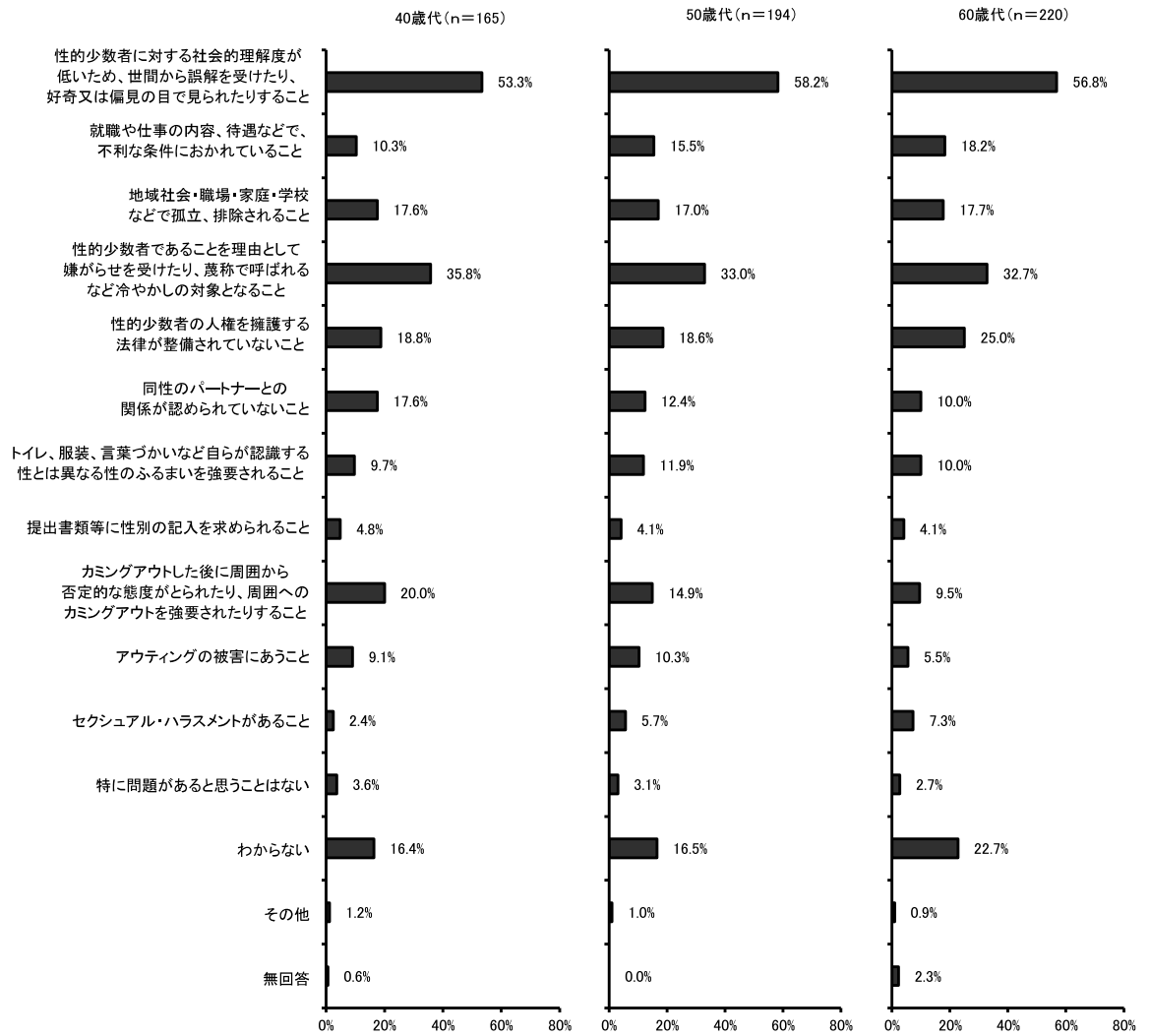
男女別

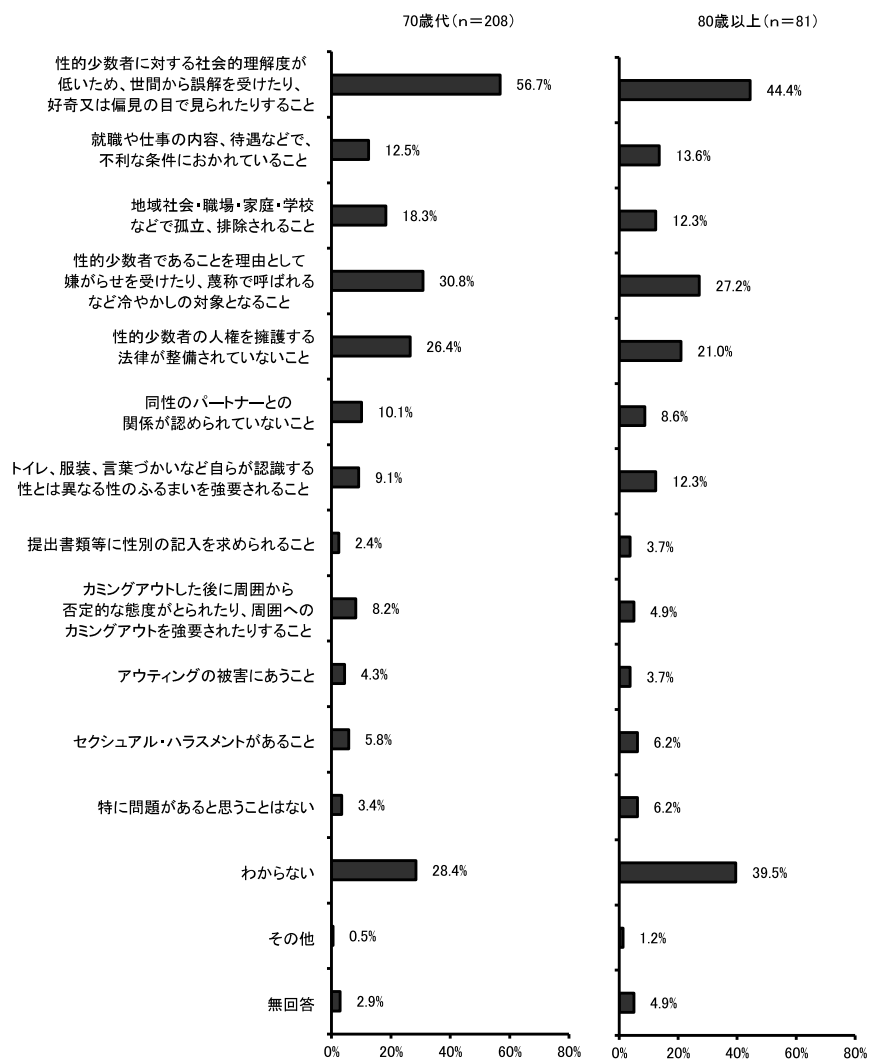


■男女共に「性的少数者に対する社会的理解度が低い
ため、世間から誤解を受けたり、好奇又は偏見の目で見られたりすること」が最も高く、5割を超えている。

年代別





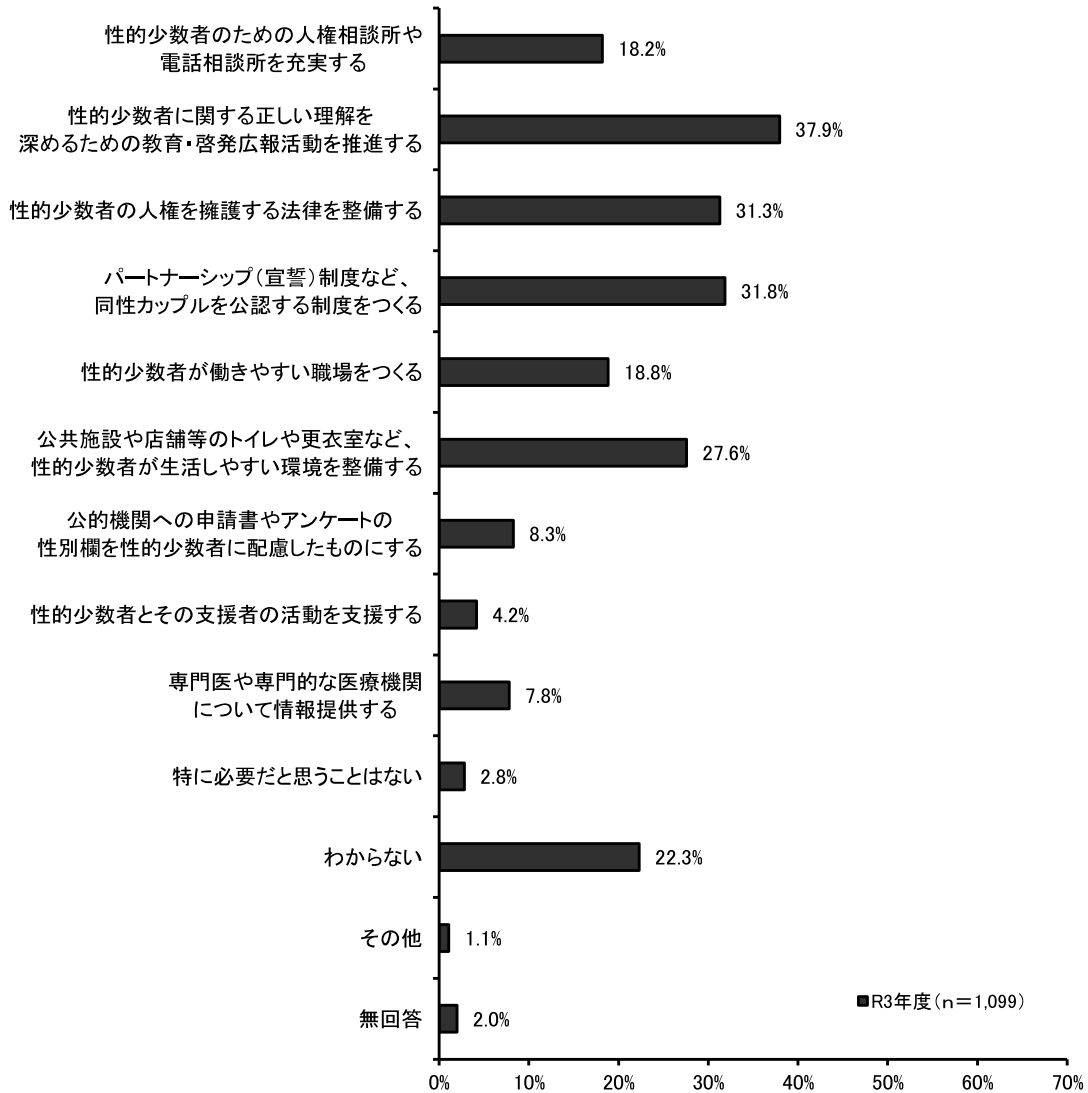


■ いずれの年代においても「性的少数者に対する社会的理解度が低い
ため、世間から誤解を受けたり、好奇又は偏見の目で見られたり
すること」が最も高くなっている。

■ 「同性のパートナーとの関係が認められていないこと」は、30歳代以下が
40歳代以上に比べて高く、3割を超えている。

(2) 性的少数者への人権問題を解決するために必要なこと

問 44 性的少数者への人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

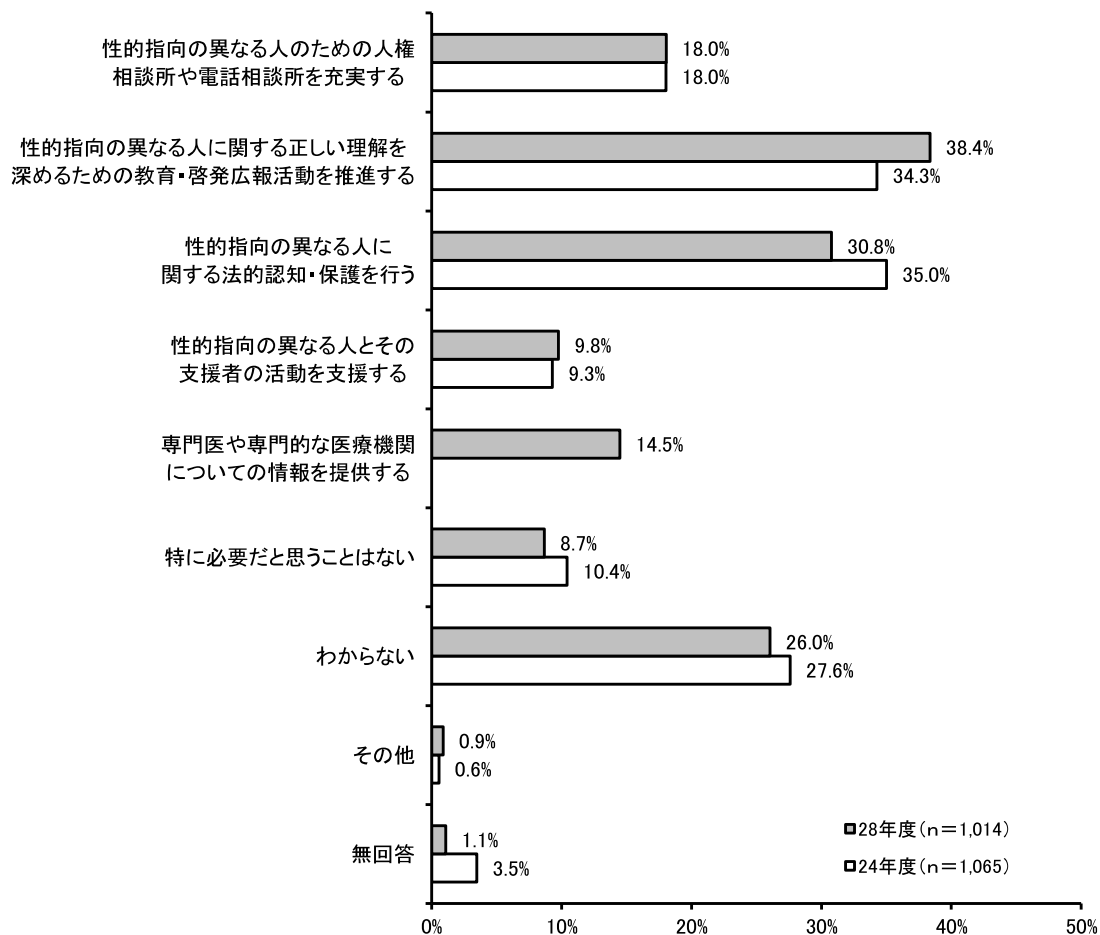


■ 「性的少数者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が37.9%と最も高く、次いで「パートナーシップ（宣誓）制度など、同性カップルを公認する制度をつくる」が31.8%、「性的少数者の人権を擁護する法律を整備する」が31.3%の順となっている。

※本質問は、前回調査「性的指向の異なる人への人権問題を解決するために必要なこと」と「性自認の異なる人への人権問題を解決するために必要なこと」を統合したため、今回と前回までの調査結果を別々に掲載している。

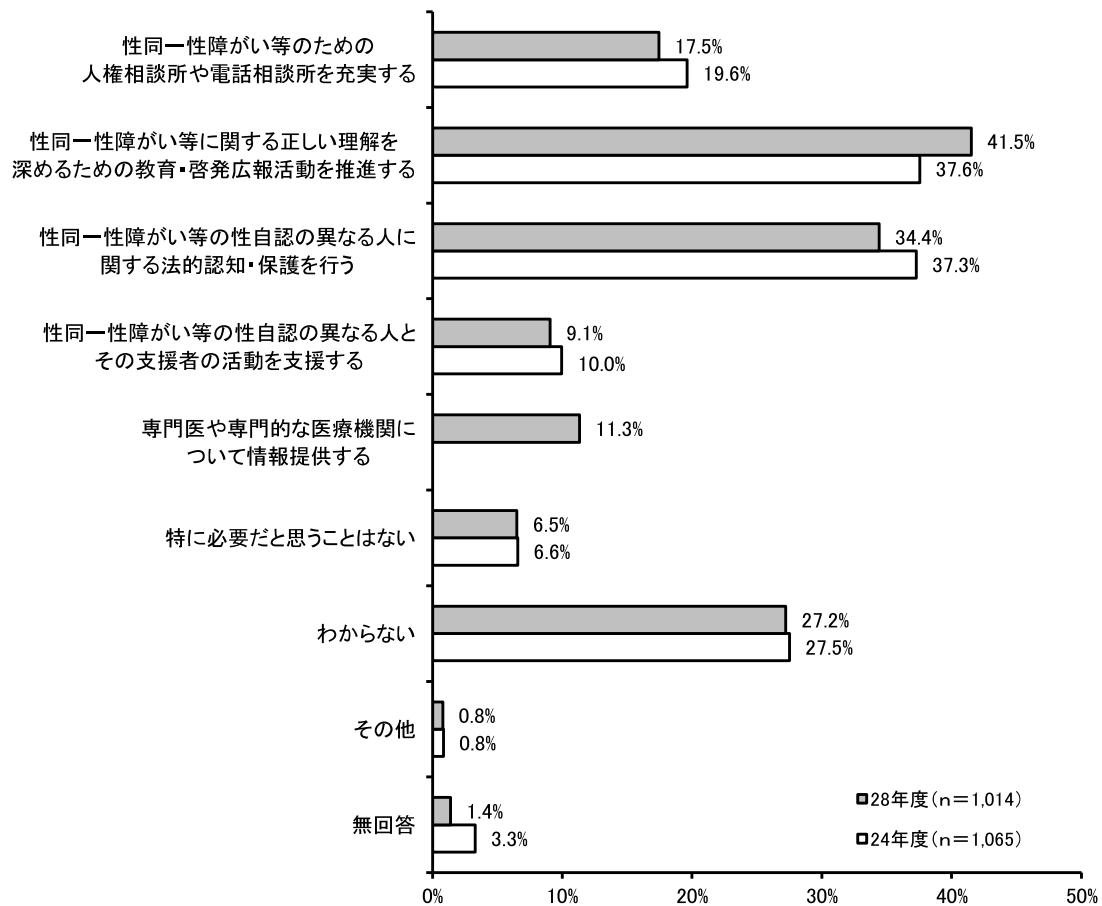
参考（前回・前々回調査）

問 性的指向の異なる人への人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

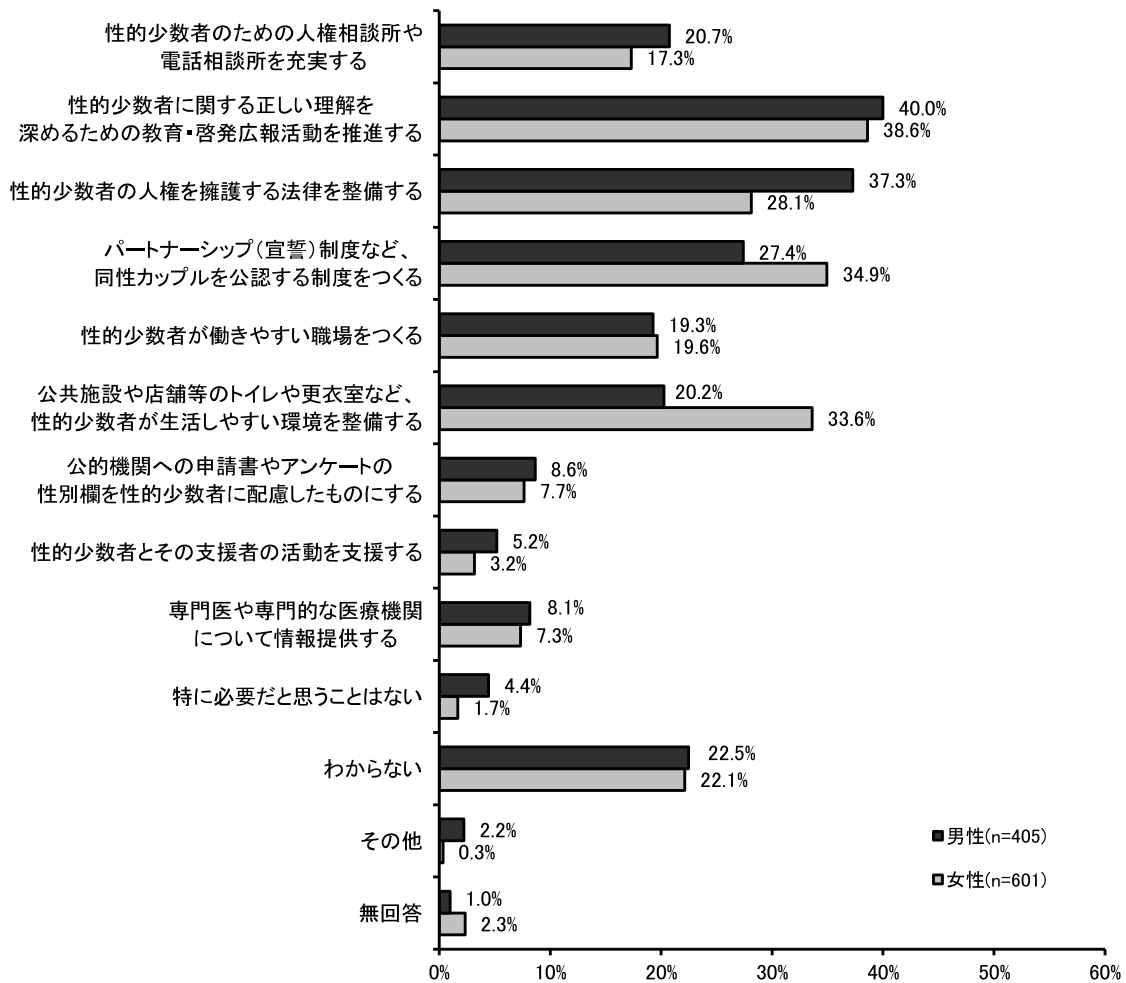


参考（前回・前々回調査）

問 性同一性障がい等の性自認の異なる人への人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

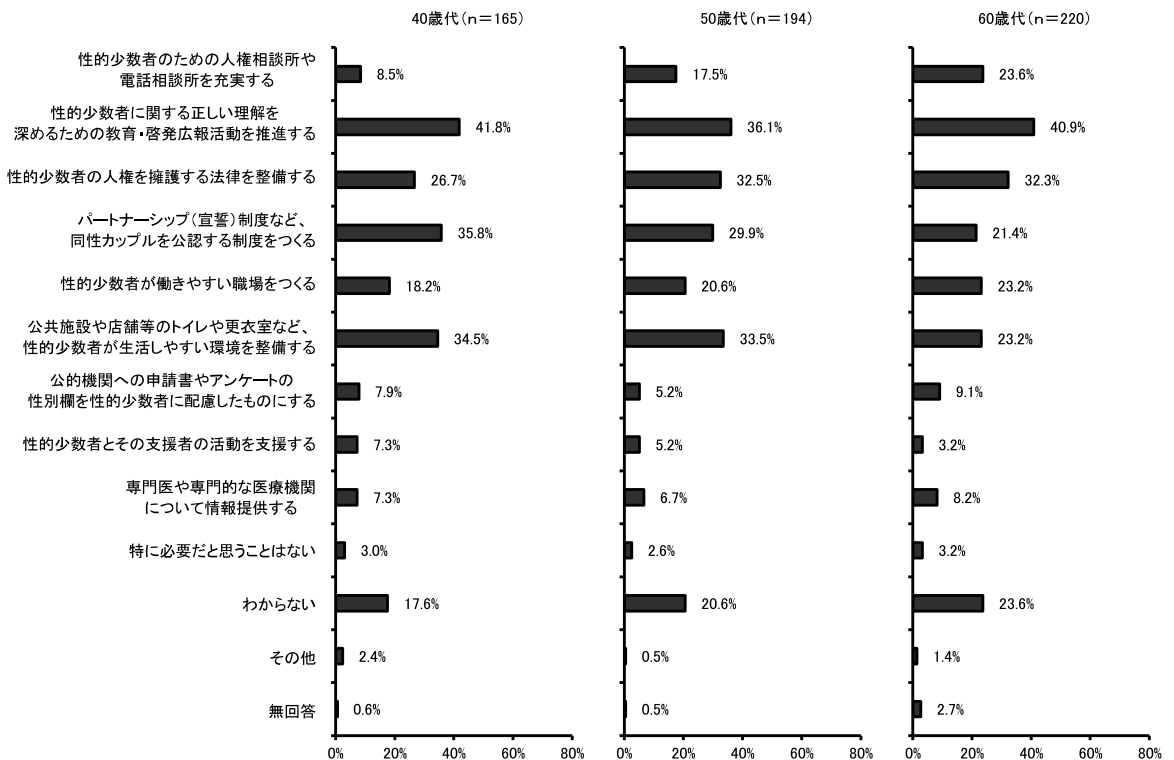
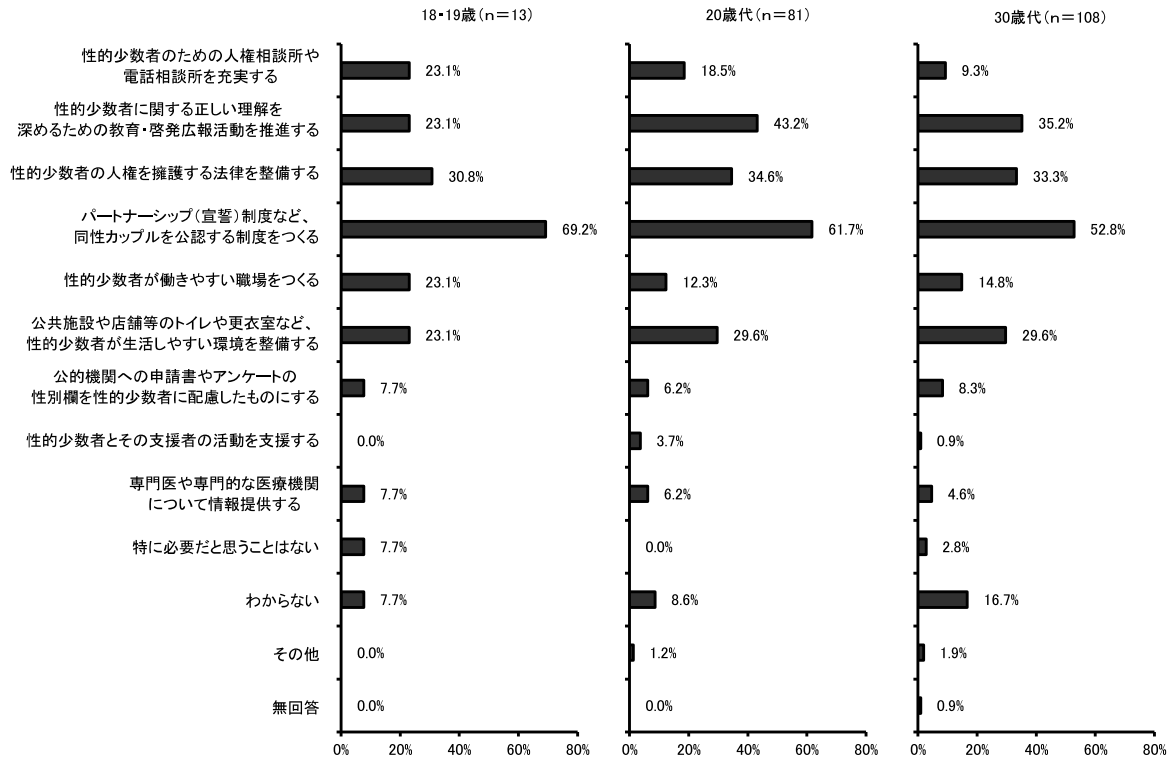


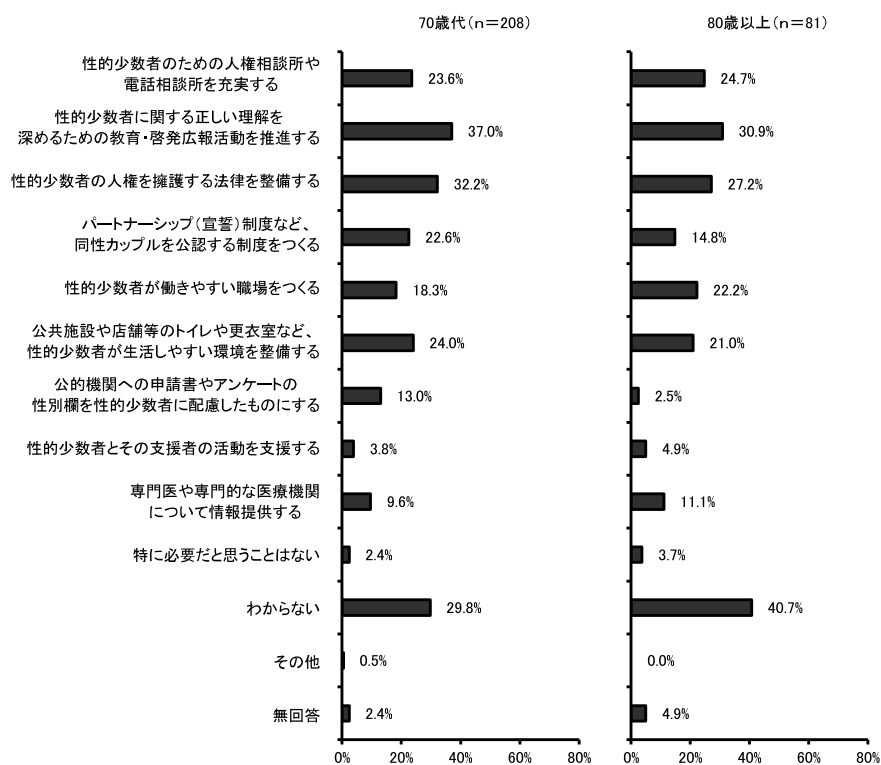
男女別



- 男女共に「性的少数者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が最も高くなっている。
- 「性的少数者の人権を擁護する法律を整備する」は、男性が37.3%で女性より9.2ポイント、「公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的少数者が生活しやすい環境を整備する」は、女性が33.6%で男性より13.4ポイント高くなっている。
- 「パートナーシップ(宣誓)制度など、同性カップルを公認する制度をつくる」は、女性が34.9%で男性より7.5ポイント高くなっている。

年代別

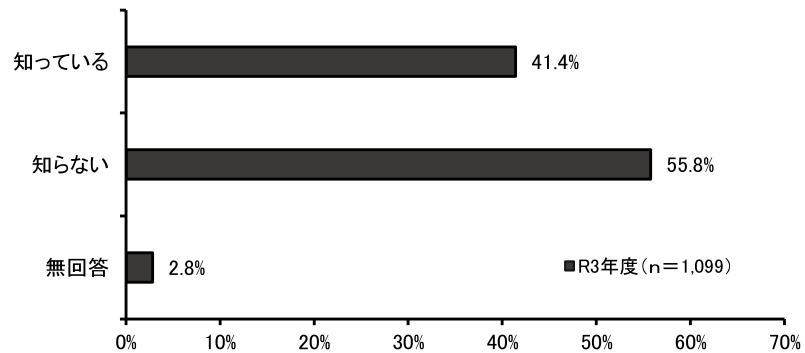




■40～70 歳代では「性的少数者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が、20～30 歳代では「パートナーシップ（宣誓）制度など、同性カップルを公認する制度をつくる」が、80 歳以上では「わからない」が最も高くなっている。

(3) パートナーシップ（宣誓）制度の認知度

問 45 同性カップルは、夫婦に準じる共同生活を送りながらも、法律で婚姻が認められていないため、二人の関係を対外的に証明する手段が乏しく、生きづらさを抱えています。こうした状況の改善に向けた取組みの一つとして、全国の自治体で「パートナーシップ（宣誓）制度」が導入されています。あなたは、「パートナーシップ（宣誓）制度」を知っていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

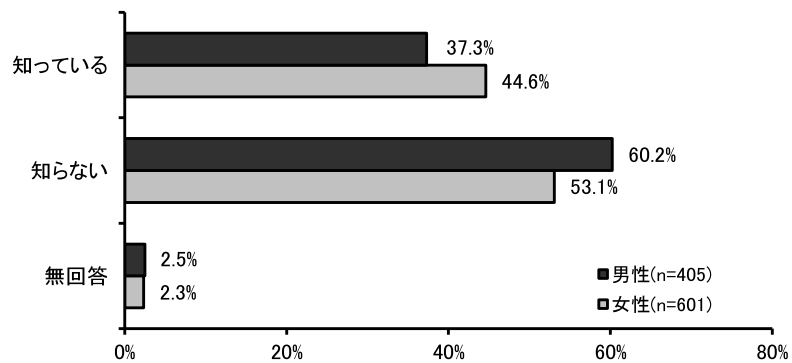


■ 「知っている」が41.4%、「知らない」が55.8%で、「知らない」が高くなっている。

【前回・前々回比較】

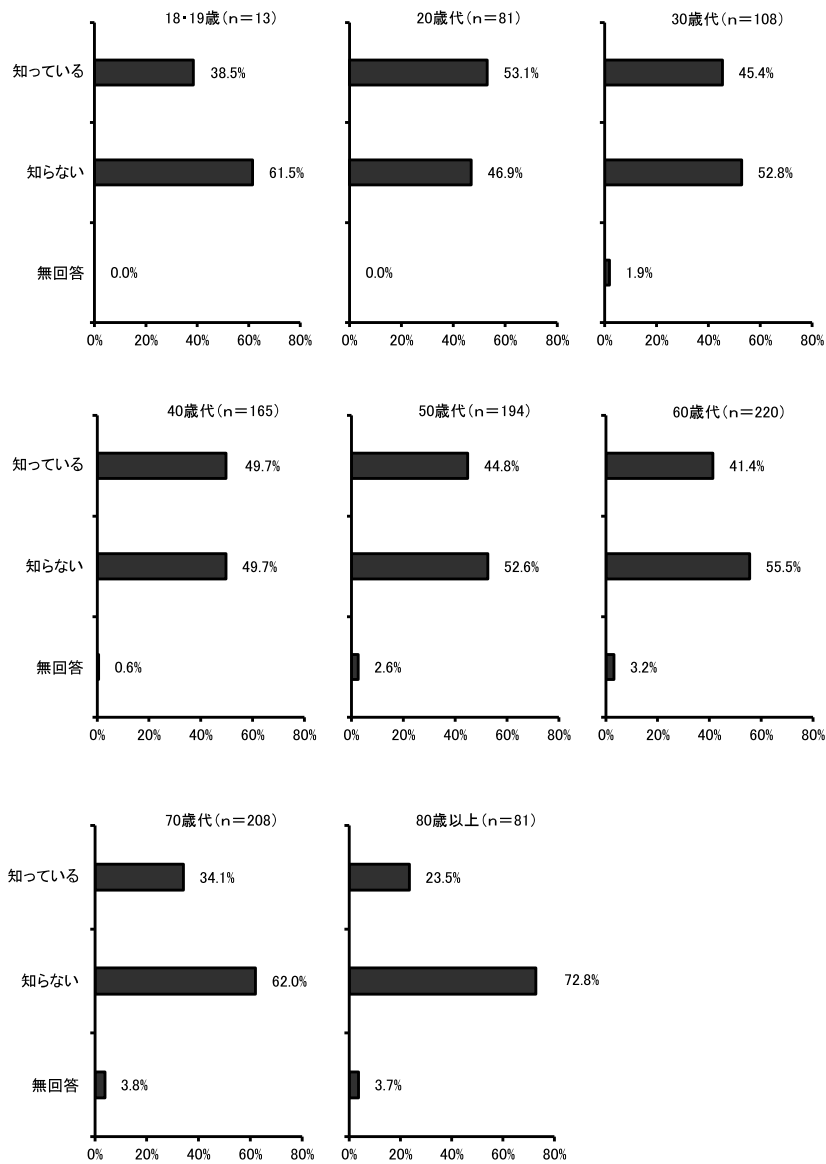
※新たに追加した質問のため、比較はできない。

男女別



■ 「知っている」は、女性が44.6%で男性より7.3ポイント高くなっている。

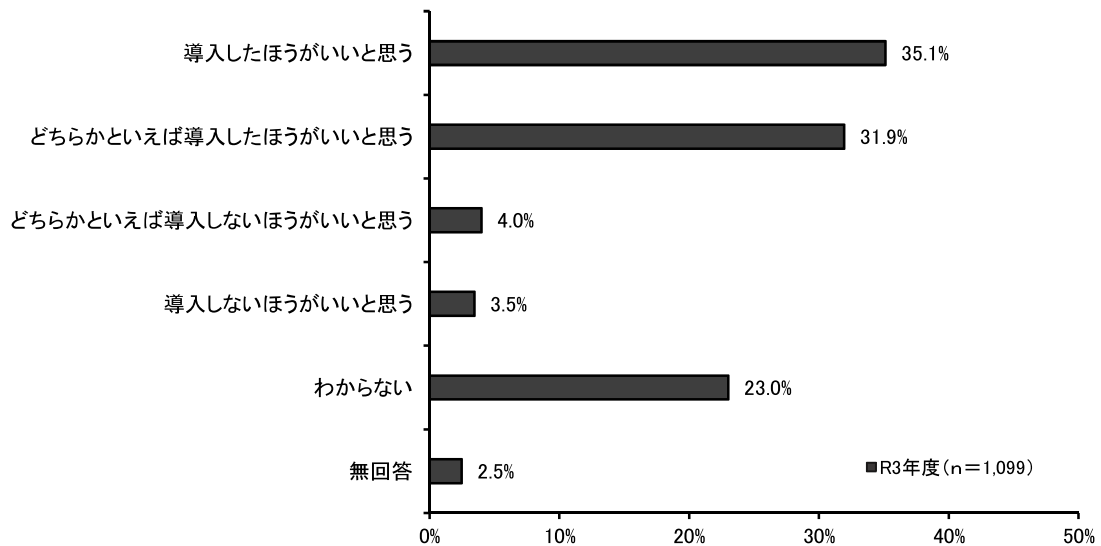
年代別



■ 「知っている」は若い年代ほど高くなっており、20歳代は「知っている」が「知らない」より高くなっている。

(4) パートナーシップ（宣誓）制度の導入についての考え

問 46 岐阜県でパートナーシップ（宣誓）制度を導入することについて、あなたはどのように思いますか。あなたの考えにいちばん近いものを次の中から 1つだけ選んで○をつけてください。

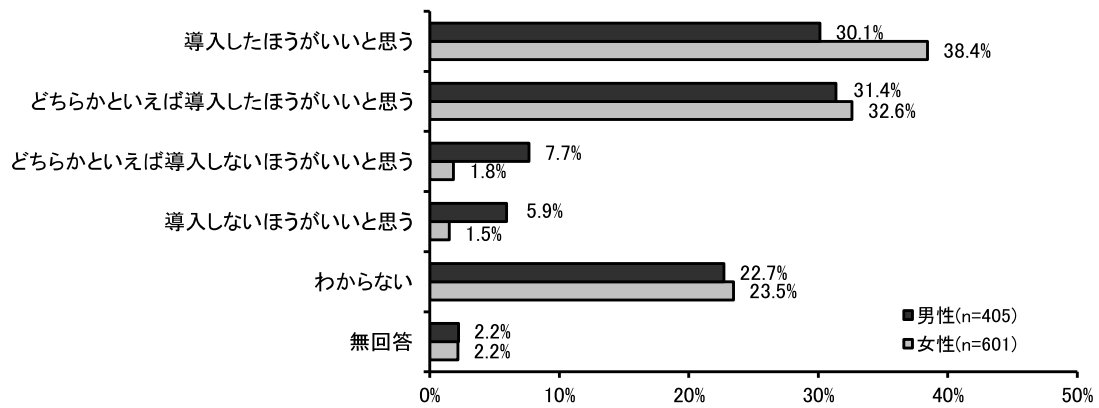


- 「導入したほうが良いと思う」が 35.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば導入したほうが良いと思う」が 31.9%、「わからない」が 23.0%の順となっている。
- 「導入したほうが良いと思う」と「どちらかといえば導入したほうが良いと思う」を合わせた“導入に賛成”は 67.0%、「どちらかといえば導入しないほうが良いと思う」と「導入しないほうが良いと思う」を合わせた“導入に反対”は 7.5%となっている。

【前回・前々回比較】

※新たに追加した質問のため、比較はできない。

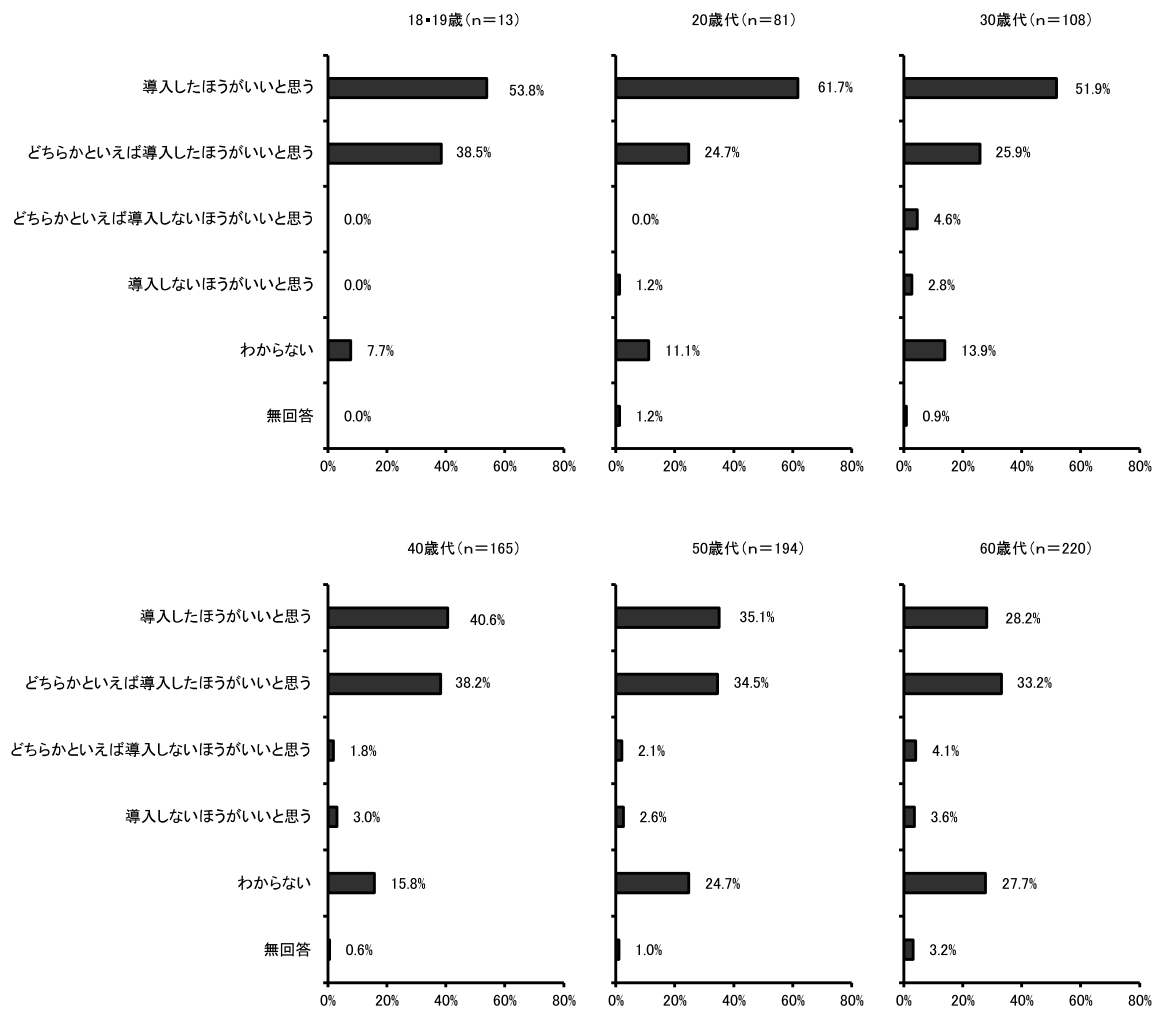
男女別

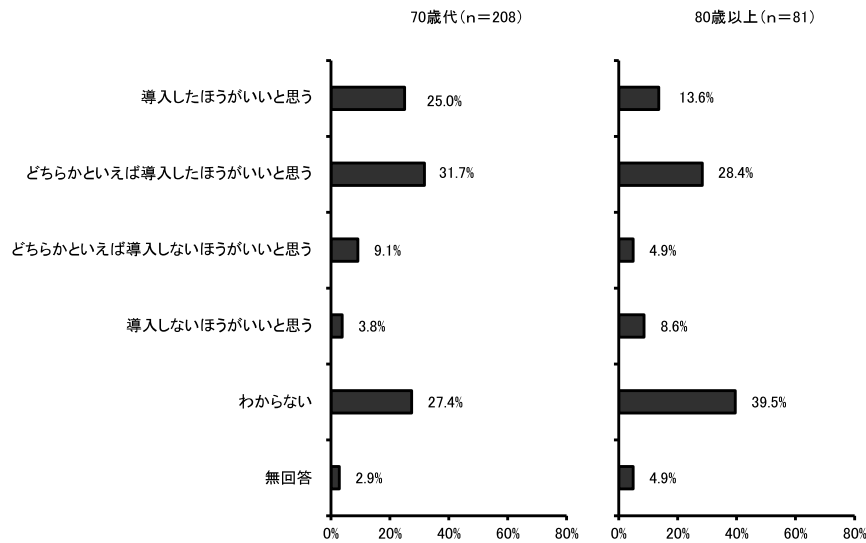


■男性では「どちらかといえば導入したほうが良いと思う」が、女性では「導入したほうが良いと思う」が最も高くなっている。

■“導入に賛成”は、女性が71.0%、男性が61.5%で女性が9.5ポイント高くなっている。

年代別





- 50 歳代以下では「導入したほうが良いと思う」が最も高く、60～70 歳代では「どちらかといえ
ば導入したほうが良いと思う」が、80 歳以上では「わからない」が最も高くなっている。
- “導入に賛成”は 20 歳代で 86.4%、30 歳代で 77.8%、40 歳代で 78.8%と、50 歳代以上よりも
高くなっている。
- 「わからない」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。